

# 史 泉

第一二九号

## △論文▽

ハノイの農村工業專業村における家内工業の実態

——フードー村のライスヌードルを事例に——…………… 齋藤 鮎子 (1)

## △書評▽

福田アジオ 著『民俗学のこれまでとこれから』…………… 安田 えり (1)

老川慶喜 著『鉄道と観光の近現代史』…………… 松川昭太郎 (27)

## △調査報告▽

内モンゴル自治区・遼寧省における

唐・契丹国(遼朝)・金時代の遺跡・文物調査報告…………… 森部 豊 (8)

二〇一八年度史学・地理学会大会報告…………… (14)

二〇一八年度史学・地理学関係卒業論文及び大学院修士論文題目…………… (15)

会員の発表論文目録…………… (18)

## 『史泉』投稿規定

### 一、種類と枚数

論文六〇枚以内、研究ノート、史料紹介、学界動向四〇枚以内、書評二〇枚以内、紹介五枚以内（いずれも注、図、表、写真などを合わせて四〇〇字詰換算）

### 二、留意事項

①原稿はワード・プロセッサ原稿（完成原稿）でご提出下さい。詳しくは一〇六号の「電子媒体での執筆要項」をご覧ください。

(1)印字原稿とファイルを取めた記録媒体ともにご提出下さい。掲載の場合はいずれも返却しませんので、印字原稿、記録媒体内のファイルいずれもコピーを取って置いて下さい。

(2)印字原稿

○A4サイズの無地紙を使用して下さい。原稿用紙には印字しないで下さい。

○一ページあたり一二〇〇字を目安に、縦組みの場合は原稿も必ず縦書きで、横組みの場合は原稿も必ず横書きで印字して下さい。また上下左右に十分な余白を取って下さい（各三センチメートル以上）。

(3)記録媒体

記録媒体は一般的に広く利用されている媒体をご利用下さい。また、外部に執筆者氏名、ファイル名及び使用ソフト名を書き添えて下さい。

②やむを得ず手書き原稿となる場合は、四〇〇字詰または二〇〇字詰原稿用紙を利用し、完成原稿でご投稿下さい。必ず原稿のコピーをお手もとにおいて下さい。

③図、表、写真などの掲載にあたっては実費を頂くことがあります。また、原則として折り込みは行いません。

④投稿の際には、「投稿申込書」に必要事項を記入して添えて下さい。

### 三、採否等

①『史泉』に投稿された論文・研究ノートの採否については、審査員の査読を経て、編集委員会において決定します。審査員については、別に定めます（注：この規定は一〇九号より適用します）。

②論文、研究ノート、史料紹介、学界動向、書評の執筆者には抜刷を三〇部進呈します。超過分は実費となります。

### 四、原稿の締切

三月末日及び九月末日です。なお、『史泉』の刊行は年二回（七月末日、一月末日）です。

### 五、電子化・公開の許諾

本誌に掲載された論文等は、基本的にすべて、国立情報学研究所および関西大学学術リポジトリによって電子化・公開することを執筆者が許諾したものとします。

### 六、原稿の提出先及び「投稿申込書」請求先

関西大学文学部総合人文学科 歴史学・地理学系合同研究室 関西大学史学・地理学会

〒五六四―八六八〇 大阪府吹田市山手町三―三三五

電話 〇六一六三六八―〇三二五 電子メール shichi@cm.kansai-u.ac.jp

## お知らせとお願い

一、第一二五号から投稿規定を一部改定し、電子化・公開の許諾に関する条項を新設しました。新しい投稿規定を本号に掲載しておりますのでご確認ください。

二、本誌の原稿締切日は三月末日及び九月末日、刊行日は七月末日及び一月末日です。次号(第一三〇号)の原稿締切日は二〇一九年三月末日、刊行日は二〇一九年七月末日となります。ふるってご投稿ください。

三、本誌に「会員の発表論文目録」を掲載しております。会員の皆様の発表論文等を当会宛にお知らせください。次号(第一三〇号)では二〇一八年一〇月から二〇一九年三月までに発表された論文などが掲載対象となります。なお、お知らせいただく際には、実際の掲載例を参考にさせていただきます。shichi@cm.kansai-u.ac.jp宛に電子メールにてお送りください。

四、今後会員の博士論文題目を随時掲載いたします。今年度以降博士号を取得された方は、氏名・博士論文題目・博士号取得機関・取得年月日を shichi@cm.kansai-u.ac.jp 宛に電子メールにてお知らせください。

## 本号編集委員 (※編集責任者)

大谷 渡	池尻 陽子	※嶋中 博章	伊東 理
橘 悠太	岡部美沙子	乾 友貴	齋藤 鮎子

## 編集後記

皆様、近頃はいかがお過ごしでしょうか。『史泉』第一二九号をお届けいたします。本号に掲載した論文では、ハノイの農村工業専業村というある種独特な農村の実態とその役割の解明が目指され、現代ベトナムの経済状況を考える上で重要な観点と考察が提供されています。その他の内容と合わせて、一読頂ければ幸いです。

今年も無事に新たな『史泉』をお届けすることができましたが、昨年は大阪府北部地震をはじめ、全国各地で自然災害が続発し、多くの方々が心身ともに慌ただしい日々を送られたのではないのでしょうか。今年はどうか平穏な日々が訪れ、皆様それぞれのご活動にとって少しでもよい一年になることを願っております。ひいては、その日々の皆様の努力から生まれた研究成果を、『史泉』にて発表させていただくことができれば、これ以上の幸せはありません。皆様のご寄稿を編集部一同心待ちにしておりますので、よろしくお願いいたします。(乾)

## 史 泉 第二二九号

二〇一九年一月三十一日発行

〒564-8680 大阪府吹田市山手町三一―三五

関西大学文学部総合人文学科

歴史学・地理学系合同研究室

編集兼 発行者 関西大学史学・地理学会

振替 〇〇九七〇―七―二六〇二六

電話 (〇六) 六三六八―〇三二五

〒615-0052

京都市右京区西院清水町一三

印刷者 協和印刷株式会社

電話 (〇七五) 三二二四〇一〇

# SHISEN

Historical & Geographical Studies  
in  
KANSAI UNIVERSITY

---

VOL. CXXIX

*Jan. 2019*

---

## Contents

### Article

- The Craft Villages of Rural Industry in Hanoi:  
A Case Study of Rice Noodle Household Industry  
in Phu Du Village .....SAITO Ayuko ( 1 )

### Book Reviews

- Fukuta Ajio, Folklore Studies so Far and Now .....YASUDA Eri ( 1 )
- Modern History of Railways and Tourism  
in Japan by Yoshinobu Oikawa .....MATSUKAWA Shotaro ( 27 )

### Report of field work

- A Report on Relics and cultural relics of the Tang, Liao and Jin  
dynasties in Inner Mongolia and Liaoning .....MORIBE Yutaka ( 8 )

### Miscellaneous

---

The Historical & Geographical Society  
of  
KANSAI UNIVERSITY  
Osaka, Japan